

令和元年 6 月 20 日
水管理・国土保全局
海 岸 室

「予測を重視した順応的砂浜管理」の実践 ～砂浜保全に関する中間とりまとめの公表～

国土交通省は、砂浜保全に関する中間とりまとめとして、砂浜保全に関する背景や基本的な考え方、現状と主な課題を整理した上で、それに対して講ずべき施策について提言を頂きました。

- 「津波防災地域づくりと砂浜保全のあり方に関する懇談会」は、今後の津波防災地域づくりや砂浜保全のあり方を検討する場として平成 29 年 9 月に設置されました。砂浜保全のあり方については 5 回にわたり議論され、この度、提言がとりまとめられました。
- 本提言では、これまでの後追的な砂浜管理だけでなく、「予測を重視した順応的砂浜管理」の施策展開の必要性についてとりまとめられています。特に、日本のすべての砂浜の健康状態を定期的に確認する「健診的なモニタリング（砂浜の健康診断）」により、必要な砂浜幅が確保できないと予測された時点で対策を行うことが重要であることが強調されています。

【中間とりまとめの主なポイント】

- ・最新技術を活用した砂浜のモニタリング手法の構築
- ・侵食対策の早期実施に向けた環境整備
- ・順応的砂浜管理の実施
- ・砂浜の海岸保全施設としての指定の促進
- ・専門的な人材の育成、技術力の向上
など

【とりまとめ資料】

1. 砂浜保全に関する中間とりまとめ【概要】
2. 砂浜保全に関する中間とりまとめ【本文】
3. 砂浜保全に関する中間とりまとめ【参考資料】

とりまとめ資料及び懇談会に関する資料は、下記 URL よりご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/tsunamiKondankai/index.html

【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 海岸室

海洋開発企画官 舛田 直樹 (内線：36302)

津波・高潮対策係長 田中 優太 (内線：36324)

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8471 FAX：03-5253-1612